

「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2025」の開催結果について

1 要旨・目的

9月27日～28日(※)、公益社団法人広島県パラスポーツ協会（以下「協会」という。）は、誰もが参画し楽しめる「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2025」を開催した。

県としては、協会を中心に、市町、競技団体、企業、大学、医療機関等、多様な主体と連携を図りながら、誰もが参画できるパラスポーツに触れる場や機会を広く地域に展開することを通じて、多様性が尊重される共生社会の実現を目指していく。

※サブ会場の大竹市は10月13日(月・祝)、北広島町は10月19日(日)に開催

2 現状・背景

県パラスポーツ推進事業は、多様性が尊重される共生社会の実現を目指し、普及啓発・認知向上、場の充実・機会の確保、競技力向上の3つの施策の柱に沿って取り組んでいる。その具体的な取組として、スポーツに触れる場や機会を地域に広く展開するため、令和5年度から、毎年、県内各地で協会を中心に誰もが参画し楽しめるインクルーシブ・スポーツ・フェスタを開催しており、今回で3回目の開催となる。

3 概要・結果

5市町において、12競技の体験会や、企業ブース出展等を行った。約4,300人の参加があり、温かな笑顔と満足感あふれるフェスタとなった。

(1) 実施主体

ア 公益社団法人広島県パラスポーツ協会

インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2025実行委員会

(主な構成)

顧問 / 広島県知事、開催市町長

委員長 / 廿日市市スポーツ協会会長

実行委員 / 県地域魅力づくり担当部長、開催市町担当部局長、
開催市町スポーツ協会会長

各 部 会 / 企画広報部会、競技専門部会、運営部会、医療部会

イ 中国新聞社

(2) 日程

令和7年9月27日(土)～28日(日)

※サブ会場の大竹市は10月13日(月・祝)、北広島町は10月19日(日)に開催

(3) 会場

メイン会場：廿日市市（フジタスクエアまるくる大野（廿日市市多世代活動交流センター）ほか）

サブ会場：大竹市、安芸高田市、安芸太田町、北広島町

(4) 実施内容

パラスポーツの体験会(12競技)をはじめ、企業ブースの出展など、参加者が楽しく過ごすことができるフェスタを展開した。

※ 当日の様子は別紙のとおり

(5) 参加者数

- ・体験会参加者数 ／約 1,100 人（メイン会場約570人、サブ会場約530人）
- ・競技団体・スタッフ等／約 290 人
- ・ボランティア ／約 150 人
- ・観客 ／約 2,800 人 計 約 4,300 人

4 予算（単県）

10,000千円

※ 企業等からの協賛により、総額約18,000千円の事業

5 来年度の開催について

広島市及び周辺市町を会場として開催される予定

「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2025」について

1 開会式の様子【9月27日(土)】(メイン会場廿日市市内)

(1) 県立特別支援学校の生徒による演技

山根恒弘会長を始め、知事・開催市町長のほか、サポーターの広島東洋カープOBの山内泰幸さん、天谷宗一郎さんらが登壇し、応援メッセージ等を送った。

地元廿日市市内の県立廿日市特別支援学校、同阿品台分校の生徒の皆さんがダンスを披露した。



開会式



県立廿日市特別支援学校によるダンス

(2) 開会宣言、はつかいちサンプレイズの選手による応援健康ダンス

広島県ろうあ連盟スポーツ委員長の立川智隆さんの開会宣言とともに、今年11月に行われる第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025のPRを行った。

開会式終了後、はつかいちサンプレイズの選手の皆さんによる応援健康ダンスが行われ、来場者の皆さんも一緒にダンスに参加し、会場を盛り上げた。



立川さんの開会宣言



はつかいちサンプレイズの応援健康ダンス

2 ドローンサッカーエキシビションの様子【9月27日(土)】(メイン会場廿日市市内)



ドローンサッカー体験の様子

開会式に出席した多くの参加者が、ドローンサッカーエキシビションにも参加し、その魅力を体験した。ドローンサッカーは、子供から高齢者まで、年齢や性別を問わず同じフィールドで楽しみを共有できるバリアフリーな競技である。

3 体験会等【9月27日(土)～28日(日)】(メイン会場、サブ会場)

※大竹市は10月13日(月・祝)、北広島は10月19日(日)

5市町で12競技の体験会等が開催された。主な内容は次のとおり。

(1) ギソクの図書館

義肢装具士が義足ユーザー個々の状態に合うように競技用義足をセッティングし、走る楽しさ、喜びを感じてもらった。また、体験用義足を使って、義足で歩く疑似体験をすることもできた。



ギソクの図書館の体験の様子

(2) 競技団体と企業の協力による体験会運営とトップ・パラアスリートの参加



体験会の様子

体験会は、各競技団体や企業等が運営し、サポーターであるサンフレッチェ広島アンバサダー森崎浩司さんによる体験をはじめ、トップ・パラアスリートであるやり投げの白砂匠庸選手、ボッチャの古満渉選手も、様々な体験会に参加し、一緒に楽しんだ。

(3) 企業や団体等のブース出展について



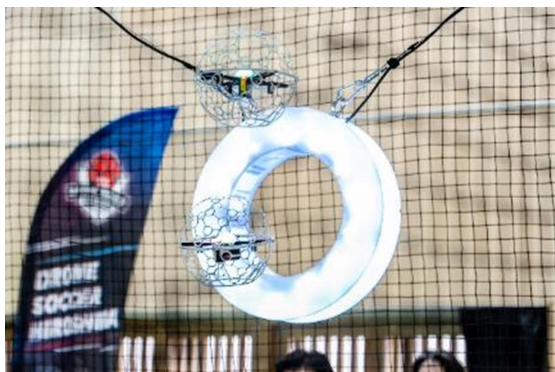
企業ブースの様子

エントランスや工作室では、8団体の企業・団体等によるブース出展の協力があつた。

あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(株)大創産業、日本生命保険相互会社、(株)広島マツダ、フマキラー(株)などの企業が趣向を凝らした体験ブースを出展し、多くの来場者で賑わった。

【参考】体験会等の様子

(1) 1日目



ドローンサッカー



デフウォーキングフットボール

(2) 2日目



車いすバスケットボール



アーチェリー



座位バレーボール



ボッチャ



パラクライミング



ハンザヨット